## ■正誤表「電験二種攻略 一次重要事項と二次論説」(第1版第1刷用)

更新日:2019年2月28日

頁	該当箇所	誤	正
p.24	図 3.9・左の回路	R	G
p.89	表 2.6	$CH_4 + 2O_2 \rightarrow CO_2 + H_2O$	$CH_4 + 2O_2 \rightarrow CO_2 + 2H_2O$
p.90	(2.31)式	= $1.867c + 0.7s + 0.8n + (\lambda - 1)A_0$ [m <sup>3</sup> N/kg]	$= 1.867c + 0.7s + 0.8n + (\lambda - 0.21)A_0[\text{m}^3\text{N/kg}]$
p.119	表 4.6・GCB の内容	6.6~500kV で多用	66~500kV で多用
p.120	図 4.7	排気パルプ	排気バルブ
p.139	図 5.24(b)·右上	$Z \not \succeq \theta(F)$	$Z\angle\theta(F)$
p.149	図 6.3	$\dot{y} = g + j\omega C [S/m]$	$\dot{y} = g + j\omega C [S/km]$
p.186	図 1.24 赤丸内の「双曲線」と「直線」を入れ替え	N, T N 2乗 直線 T 双曲線 O Ia	N, T N 2乗 直線 T 直線 T I I I I I I I I I I I I I I I I I I I
p.189	左段 下から9行目	では、3 600min <sup>-1</sup> ( <u>1 800</u> min <sup>-1</sup> )	では、3 600min <sup>-1</sup> (3 000min <sup>-1</sup> )
p.196	図 2.16 左側の電流ベクトル	$\dot{I}_c$	$-\dot{I}_c$
p.206	図 3.15・励磁回路電流	$\dot{I}_{w}^{'}$ $\dot{I}_{m}^{'}$	$a\dot{I}_{w}$ $a\dot{I}_{m}$
p.209	図 3.23・一次 Δ の電流	$\dot{I}_{VU}$	$\dot{I}_{\scriptscriptstyle VW}$
p.210	図 3.28・二次 v 点付近	$\dot{I}_{uv}$	$\dot{I}_{vu}$
	の電流	$\dot{I}_u$	$\dot{I}_{v}$
	図 3.30・右端の電流	$ I /\sqrt{3}$	$ I_2 /\sqrt{3}$
p.218	左段・下から3行目	(4.5)式が示すように…	(4.6)式が示すように…
p.224	図 4.24・2 極横軸の右端	s = 1	s = 0
p.228	図 4.38・回転子の方向	$\varphi_b$ $\varphi_a$ $\varphi_$	$\zeta$ ま取り $B$ $O$
p.235	図 5.25 の直上の行	図 2.25 に示す…	図 5.25 に示す…
p.242	図 6.12 の横軸	ω[rad]	ω[rad/s]
p.244	左段・下から3行目	ピーク値 $M_p$ は、	ピーク値の角周波数 $\omega_p$ は、
		$M_{p} = \omega_{n} \sqrt{1 - 2\zeta^{2}}$	$\omega_p = \omega_n \sqrt{1 - 2\zeta^2}$
p.261	(8.15)式	$P_d = 2\pi f \varepsilon_0 \varepsilon_s \tan \delta [\text{W/m}^3]$	$P_d = 2\pi f \varepsilon_0 \varepsilon_s E^2 \tan \delta [W/m^3]$

p.266	(9.20)式の分母	$\eta_2$	$\eta_3$
p.288	表 1.1 注釈	(1)出力 200 k Wで、	(1)出力 200 k W未満で、
p.289	右段・上から 16 行目	法規則第 52 条第 3 項	法規則第 52 条第 4 項
	右段・上から 20 行目	法第 44 条第 4 項	法第 44 条第 3 項
p.292	左段・下から 10 行目	法規則第 44 条	法規則第 38 条
	右段・上から 18 行目	法施行令第2条	法施行令第4条
p.293	右段・上から5行目	法 107 条第 7 項	法 107 条第 8 項
	右段・上から8行目	第 107 条第 8 項	第 107 条第 13 項
p.301	表 2.6 注釈(1)	P.317 の(6)参照	P.307 の (6) 参照
p.310	左段・上から10行目	チ. 大地から絶縁 <u>する</u> ことがやむを得ない	チ. 大地から絶縁できないことがやむを得ない
p.312	右段・下から 10 行目	著しく損 <u>傷</u>	著しく損壊
p.314	右段・4の①3 行目	器具を著しく損 <u>傷</u>	器具を著しく損壊
p.316	表 2.14※1 中	<u>個</u> 体酸化物形燃料電池	固体酸化物形燃料電池
p.325	表 3.8 (注) (2) 2 行目	風・雪による <u>動揺</u>	風・雪による揺動
p.327	右段・上から 10 行目	( <b>d</b> ):上方交差(建造物を除く): <u>第3種</u>	(d): 上方交差(建造物を除く): 原則として第2種
p.341	右段・③放電装置3行目	放電装置を…	放電するための装置を…
p.344	表 4.4・要件項目の 3 つ		
	目「自動負荷制限」と「低	要件項目 低圧	要件項目低圧
	圧」に交わる欄	直流流出防止変圧器 ○ R流リアクトル等 ○ *1	直流流出防止変圧器 ○ R流リアクトル等 ○ *1
		自動負荷制限	自動負荷制限 ※○を削除
p.351	左段・上から4行目	線電力制御方式(TBC)	線電力制御方式(TBC)※太字へ
p.354	右段・図 5.9 下の 3 行目	回転子は加速されて $P$ に近づく。	回転子は加速されて $P_{s}$ に近づく。
	右段・下から7行目	図 5.8	⊠ 5.9
p.355	右段・上から1行目	図 5.9	図 5.10
p.356	右段・上から7行目	図 5.12	図 5.13
p.358	左段・下から12行目	全酸化	全酸価
p.359	図 5.17	· G : GURD	• G : GUARD
p.361	右段・上から5行目	図 5.20 で…	図 5.21 で…
p.365	1.5 表・避雷器の演問	1.25	1.26
p.370	1.5 表・GIS 変電所の演問	1.26	1.27
0.50	1.5 表・GIS 変電所の演問 演習問題 1.4・出題年度	1.26 (平成 23 年一次改題)	1.27 (平成 22 年一次改題)
p.372			
_	演習問題 1.4・出題年度	(平成 23 年一次改題)	(平成 22 年一次改題)
_	演習問題 1.4・出題年度下から 3 行目	(平成 23 年一次改題) <u>前者</u> のアンモニア還元触媒法	(平成 22 年一次改題) 後者のアンモニア還元触媒法
p.399	演習問題 1.4・出題年度 下から 3 行目 解答の 3 行目	<ul><li>(平成 23 年一次改題)</li><li>前者のアンモニア還元触媒法</li><li>OF ケーブルに変わってきている。</li></ul>	(平成 22 年一次改題) 後者のアンモニア還元触媒法 CV ケーブルに変わってきている。
p.399 p.410	演習問題 1.4・出題年度 下から 3 行目 解答の 3 行目 コラムの (1) 2 行目	<ul><li>(平成 23 年一次改題)</li><li>前者のアンモニア還元触媒法</li><li>OF ケーブルに変わってきている。</li><li>キューピクル</li></ul>	(平成 22 年一次改題) 後者のアンモニア還元触媒法 CV ケーブルに変わってきている。 キュービクル
p.399 p.410	演習問題 1.4・出題年度 下から 3 行目 解答の 3 行目 コラムの (1) 2 行目 下から 12 行目	<ul> <li>(平成 23 年一次改題)</li> <li>前者のアンモニア還元触媒法</li> <li>OF ケーブルに変わってきている。</li> <li>キューピクル</li> <li>絶縁油の劣化判定</li> </ul>	(平成 22 年一次改題) 後者のアンモニア還元触媒法 CV ケーブルに変わってきている。 キュービクル 絶縁紙の劣化判定

p.438	索引 (あ)	「定態安定極限電力153」を p.440 の索引	(て)「定常特性」と「低発熱量」の間に移動
	索引(ガ)	ガス絶縁開閉装置121, <u>390</u>	ガス絶縁開閉装置121,389
p.439	索引 (こ)	固定損176, 218, <u>417</u>	固定損176, 218, 416
	索引 (さ)	サイクロコンバータ79, <u>235,</u> 236	サイクロコンバータ79, 236
	索引(し)	軸配列375	軸配列374
	索引 (す)	水頭······ <u>69</u>	水頭68
p.440	索引 (ち)	地中送電399	地中送電398
		中速中性子102, <u>379</u>	中速中性子102, 378
		直接式周波数変換装置235	直接式周波数変換装置236
		調速機試験····· <u>77</u>	調速機試験76
	索引 (て)	テブナンの定理(電圧 <u>減</u> 定理)	テブナンの定理(電圧源定理)
		電気集じん機96, 373	電気集じん機96, 372
p.441	索引 (の)	ノートンの定理(電流 <u>減</u> 定理)	ノートンの定理(電流源定理)
	索引(は)	配電用変圧	配電用変圧器
		はずみ車効果 <u>369</u>	はずみ車効果368
		発電原価	発電端原価
	索引(ふ)	フェランチ現象 <u>44,</u> 142	フェランチ現象142
		フェルミ準位43	フェルミ準位43, 44
		ブロンデルの定理36, <u>57</u>	ブロンデルの定理 36, 59
p.442	索引(アルファベット)	PWR·····104, 122	PWR·····104

オーム社

## ○更新履歴

2018 年 12 月 14 日 : p.189 の正誤を追記 2019 年 02 月 28 日 : p.186 の正誤を追記